

## V. 強靱化に向けた取組の重点化

### 1 重点化の考え方

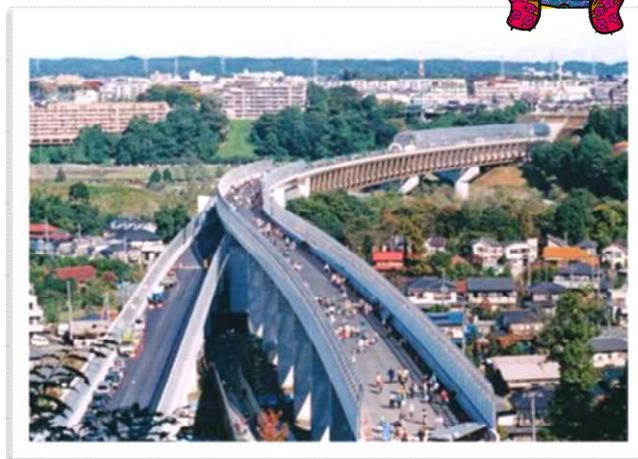
強靱化に向けた取組の重点化に向けては、国の基本計画、都の地域計画および本市の総合長期計画との整合性等も勘案し、以下の視点からリスクシナリオ単位で選定しました。

【選定にかかる視点】

- ① 人命の保護に関わるものなど、緊急度が高い事業
- ② 基本目標・推進目標に対して、効果が大きい事業
- ③ 市の総合長期計画等に対して、影響・関連の深い事業
- ④ リスクを回避するために、さらに進捗すべき事業
- ⑤ 社会情勢の変化等により、重点化を図るべき事業



平成 8 年圏央道  
青梅 IC~鶴ヶ島 JCT 開通



平成 14 年圏央道  
青梅 IC~日の出 IC 開通



平成 20 年中央図書館完成



平成 31 年ネットたまごセンター  
(文化交流センター) 完成

## 2 重点化すべきリスクシナリオ

重点化すべきリスクシナリオとして以下を選定しました。

<b>【目標1】 人命の保護</b>
1-1 住宅、建物、交通施設等の倒壊による死傷者の発生
1-2 市街地や大型施設等の火災による死傷者の発生
1-3 広域かつ長期的な市街地等の浸水による死傷者の発生
1-4 大規模な土砂災害による死傷者の発生
<b>【目標2】 救助活動等の迅速な展開および被災者等の健康の確保</b>
2-1 食料、飲料水等の物資の供給停止
2-3 警察、消防等の被災による救助・救急活動等の不足
2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の途絶
2-7 劣悪な避難生活環境等による被災者の健康状態の悪化
<b>【目標3】 必要不可欠な行政機能の確保</b>
3-3 職員、施設等の被災による行政機能の低下
<b>【目標4】 必要不可欠な情報通信機能の確保</b>
4-2 情報伝達の不備等による避難行動、支援等の遅れ
<b>【目標5】 経済活動の機能不全の回避</b>
5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下
5-4 基幹的交通ネットワークの機能停止
5-5 食料等の安定供給の停滞
<b>【目標6】 必要最低限のライフライン等の確保および早期復旧</b>
6-1 電気、ガス、石油等の供給機能の停止
6-2 上下水道の長期間にわたる機能停止
<b>【目標7】 制御不能な二次災害の防止</b>
7-1 市街地での大規模火災の発生
7-5 農地、森林等の荒廃
<b>【目標8】 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件の整備</b>
8-1 災害廃棄物の処理の停滞による復旧・復興の遅れ
8-3 地域コミュニティの崩壊等による復旧・復興の遅れ
8-5 文化財や環境的資産の喪失等による復旧・復興の遅れ

※網掛けは本市独自のもの、その他は国の重点化にかかるもの